

# 令和4年度社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## 1 推進目標：地域も関わり合える福祉学習の充実

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で前年度に引き続き一部事業の中止や縮小等を余儀なくされましたが、教育委員会や各学校と相談し福祉教育実践普及校の小中学校全校指定、福祉作文の募集や福祉体験学習事業を継続実施するとともに、ボランティア体験教室では、感染予防や拡大の防止に十分配慮し、小学生には各小学校と連携のもと多くの児童に非接触によるボランティア活動を、中学生には少人数での活動をそれぞれ体験できる機会を提供するなど児童生徒に対する福祉教育が継続的に行われるよう取り組みました。

### (1) 継続的な福祉学習・福祉教育の実践《重点項目》

#### ○福祉教育実践普及校の指定・研究

- ・福祉教育実践普及校の指定（1年） 市内4小学校・4中学校の全校指定
- ・福祉教育実践発表会・研究会の開催 令和4年7月4日（月）市民会館中ホール  
実践報告 岩沼小学校、岩沼中学校  
講 話 演題 「いのちや暮らし生きるについて学び分かち合う」  
～人と人とがやさしく支えあえる社会のために～  
講師 社会福祉法人ライフの学校 理事長 田中伸弥 氏  
参加者 48名

#### ○福祉教育担当者情報交換会

※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

### (2) 認め合える心を育む

#### ○福祉作文の募集と表彰

応募数 905点（38点）※カッコ内は審査会対象点数

岩沼小学校	173点（5点）	岩沼中学校	107点（6点）
岩沼西小学校	5点（5点）	玉浦中学校	73点（6点）
岩沼南小学校	50点（5点）	岩沼北中学校	65点（5点）
		岩沼西中学校	432点（6点）

各賞受賞作文集 400部作成

市内小中学校、関係機関・団体等へ配布

#### ○福祉（体験）学習の支援

・市内小・中学校、高等学園、専門学校に対し児童生徒への福祉体験学習の指導に職員やボランティア等を派遣し、学習の支援を行いました。

番号	月 日	学校名	体 験 内 容	協力団体/ ボランティア等
1	6月10日	岩沼小学校	3年：福祉体験 白杖体験	職員 2名 実習生 1名
2	7月 6日	玉浦中学校	3年：福祉体験 車いす体験	職員 2名 実習生 1名

3	10月20日	玉浦中学校	2年：福祉体験 白杖体験	職員 3名
4	11月16日	東日本航空 専門学校	2年：福祉体験 手話体験 講話（視覚障害）	職員 3名 ボラ 3名
5	11月17日	東日本航空 専門学校	2年：福祉体験 白杖体験、 高齢者疑似体験	職員 3名 ボラ 1名
6	11月29日	岩沼高等学園	2年：福祉体験 白杖体験 高齢者疑似体験	職員 3名
7	11月30日	岩沼高等学園	2年：福祉体験 白杖体験 高齢者疑似体験	職員 3名

### (3) 福祉に触れる学びの実践

#### ○小中学生のためのボランティア体験

- ・小学生のボランティア体験教室 長寿をお祝いするメッセージカード作成

日時・場所 夏休み期間に各自宅で活動

対象児童 小学校3年生から6年生の児童

参加児童数 235名

岩沼小 196名

岩沼西 19名

岩沼南 20名

- ・中学生のボランティア体験教室 リサイクル活動及び福祉活動財源づくり活動

8月5日（金） 総合福祉センター 参加者 7名

- ・24時間テレビチャリティ募金活動協力 みやぎ生協岩沼店

8月27日、28日（土・日）※新型コロナウイルス感染症対策のため職員のみ

#### ○次世代支援事業

子どもの居場所づくり運営委員会への参画

ボランティア活動体験（再掲）

## 2 推進目標：地域を支えるボランティア育成と活動支援の充実

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながらサロン活動やボランティア活動を再開する団体も増えたことに伴いサロンやボランティア活動の支援件数が増えました。事業においては、頻発する災害への備えとして災害ボランティアの養成や研修を継続するなど支援体制の強化に努めましたし、また、高校生のボランティア活動に対する機運が高まっており、ゴミ出しやサロン活動等の高齢者の生活を支援する活動につなぐなど学校の協力を得ながら活動の支援に力を入れ取り組みました。

### (1) ボランティア育成の推進《重点項目》

#### ○ボランティア養成講座

- ・災害ボランティアセンター運営協力ボランティアフォローアップ講座

11月2日（水） 丸森町 受講者 10名

- ・災害ボランティアセンター運営協力ボランティア養成講座

12月4日（日） 総合福祉センター 受講者 21名

### (2) ボランティア活動支援の充実

#### ○ボランティア活動支援事業

- ・ボランティア活動情報の提供 社協だより・ホームページ・公式LINEで発信

- ボランティア保険加入促進事業
  - ボランティア保険加入 41団体 839名
  - 行事保険加入 延43団体

(3) ボランティアセンター機能（仕組み）の充実

- ボランティア登録（令和5年3月31日現在）

個人 181名 団体 30団体  
うち、高校生ボランティア登録者数 33名

- ボランティアのコーディネート

・ボランティア相談及び活動件数

依頼者	個人	施設	団体	地域	社協	行政	合計
相談件数	15件	5件	7件	0件	2件	2件	31件
活動依頼数	7件	2件	4件	0件	2件	0件	15件
活動者数	8名	9名	14名	0名	3名	0名	34名

### 3 推進目標：気軽に参加できる地域づくりの充実

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により市民福祉フォーラム等の一部事業を中止しましたが、地域の活動も徐々に増えてきたことにより助成する団体や遊具等の貸出も増えるなど地域づくりが充実されるよう支援に努めました。また、貸出用遊具の内容の充実を図るなど事業の整備・強化に努めました。

(1) 居場所づくり

- 障害者サロン

・障害がある人と家族とボランティアの時間

※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

・発達に何らかの課題があるお子さんと家族のおもちゃの時間

10月12日（水） 総合福祉センター

参加者 1家族2名 ボランティア等 3名

3月18日（土） 総合福祉センター

参加者 1家族2名 ボランティア等 1名

- 市民福祉フォーラム ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(2) 地域資源・社会資源の開発

- 既存団体の把握、つながり作り

(3) 地域支援・団体支援

- 地域サロン支援

・講師やボランティアの紹介等 2件

・サロン運営の支援 7件（助成金・立ち上げ支援他）

- 地域支え合い活動助成事業

・ふれあいサロン事業等への支援と推進 助成金 5団体 210,000円

○遊具等無料貸出事業

・遊具等の貸出 227件

#### 4 推進目標：一人ひとりを支える相談・生活支援の充実

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、生活福祉資金コロナ特例貸付制度も9月まで実施されましたが、生活に困窮する世帯からの相談が多く、相談・生活支援事業については、関係機関とさらに連携を深め、各種支援制度を活用し相談や支援に当たりました。各種事業においては、感染拡大防止のため一部の交流事業は中止しましたが、感染予防対策を講じ規模等を縮小するなど工夫しながらひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯を対象とした交流事業を再開するとともに障害児向けの新たな事業を実施するなど生活支援に努めました。

(1) 相談機能の充実

○ふれあい福祉相談事業

・地域福祉課の各種事業と連携し、職員が相談対応した。

(2) 生活困窮世帯への自立生活支援の充実

○愛の福祉短期貸付事業

【貸付】相談 12件 貸付 12件 貸付金 160,000円

【償還】相談 24件 償還 24件 償還金 149,000円

○生活困窮者自立支援事業の受託

- ① 新規相談者 135名
  - 29歳以下 23名 30～49歳 38名 50～64歳 34名
  - 65歳以上 21名 年齢不明 19名
- ② 相談 3,012件
  - 電話 1,315件 訪問・同行 72件 来所 772件
  - 他機関への照会・協議 853件
- ③ 制度利用
  - ・家計改善支援事業 29件
  - ・生活福祉資金（コロナ特例貸付） 82件
  - ・ハローワーク巡回相談 110件
  - ・生活保護受給者等就労自立支援促進事業 20件
  - ・住居確保給付金 12件
  - ・生活困窮者自立支援金 30件
  - ・食糧支援 6件
- ④ プラン 策定104件 終結31件
- ⑤ 就労者数 28名
- ⑥ 就活サロン「ここから」開催 24回 利用者 延22名

○生活福祉資金貸付事業の受託

緊急小口資金・総合支援資金

（コロナ特例貸付：令和2年3月26日～令和4年9月30日）

- ① 相談件数 240件
- ② 貸付件数 82件
- ③ 貸付金総額 31,210,000円  
(岩沼市分総貸付額 298,740,000円)
- ④ 償還免除（非課税世帯・生活保護受給・債務整理成立） 193件
- ⑤ 償還免除額 70,615,020円

○善意銀行の運営

・預託払出状況

預託 28件 紙オムツ、尿とりパッド、米、衣類他  
 払出 23件 紙オムツ、尿とりパッド、米、衣類他

○日常生活自立支援事業（まもり一ぶ） 対象者（実利用者）6名 生活支援員2名

○歳末たすけあい運動

募 金		配 分	
一般	4,206,560円	見舞金	4,795,000円
事務局扱い	165,969円		(118世帯・241名)
前年度繰越	785,550円	翌年度繰越	363,079円
合 計	5,158,079円	合 計	5,158,079円

(3) 高齢者や障害者がいる世帯への生活支援の充実

○ひとり暮らし高齢者会食のつどい

※新型コロナウイルス感染症対策のため規模等縮小して実施

- 10月19日（水） 岩沼西コミュニティセンター 利用者18名  
岩中学区（吹上、藤浪地区）
- 10月21日（金） 金蛇水神社 利用者10名  
北中学区（相の原第二、中央四丁目第一・第三地区）
- 10月25日（火） デイサービスたんぼぼ中央サテライト 利用者10名  
玉中学区（矢野目上・中・下・下二地区）
- 11月8日（火） 岩沼西コミュニティセンター 利用者15名  
西中学区（朝日東・西、栄町中央・南・東、たけくま第二東地区）

○高齢者夫婦世帯研修・交流会

※新型コロナウイルス感染症対策のため規模等縮小して実施

- 3月13日（月） 岩沼西コミュニティセンター 利用者 10世帯14名  
平等団地地区

○車いす無料貸出事業 貸出 28件

○おもちゃ無料貸出事業（未就学障害児向け） 貸出 2件

## 5 推進目標：地域福祉を推進する連携・協働の充実

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ふれあいの広場や町内会連携地域福祉活動モデル事業は中止し、また、新規委託事業の敬老のつどい地域版は、催し物を中止するなど内容を変更して実施しました。生活支援体制整備事業については、配置職員の増員により行政、関係機関・団体等との連携強化が図られました。さらには、民生委員・児童委員等との連携・協働におけるなお一層の充実を図るため、民生委員児童委員協議会の事務局移管について協議を進めました。

(1) 連携・協働の関係づくり

○ふれあいの広場の開催 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

○岩沼市敬老のつどい地域版の受託実施

・意見交換会の実施

実施回数 12回（4小学校区×3回）

延参加者 249名（町内会等の長、民生委員、主任児童委員、介護保険事業所）

内 容 事業説明、催し物内容検討、振り返り等

・敬老祝品の贈呈

対象者 3,846名

敬老祝品 長寿米（3合×2袋）

贈呈協力 岩沼市民生委員児童委員協議会、岩沼市老人クラブ連合会、  
介護保険事業所

・催し物の開催

新型コロナウイルス感染症対策のため中止

催し物開催時披露する予定だった「岩沼プチご当地落語」のDVD作成

○岩沼市生活支援体制整備事業の受託

・協議体の運営

第1回 2月16日（木） 総合福祉センター 出席者33名

第2回 3月16日（木） 総合福祉センター 出席者36名

第3回 3月（書面による会議） 24名

・研修会の実施

第1回 「生活支援体制整備事業に関する研修会」  
1月26日（木） 総合福祉センター 参加者25名

第2回 「地域活動実践者研修会」  
3月1日（水） 市民会館中ホール 参加者48名

・情報誌の発行 1回

IWANUMA で暮らし続けるための生きがい支えあい情報誌「ず〜っと岩沼」

・第1層生活支援コーディネーターの配置

協議体の企画・運営、第2層生活支援コーディネーターとの情報共有・活動支援、  
高齢者支援のニーズ把握や社会資源の創出、関係機関のネットワーク構築等

生活支援体制整備事業推進会議への参加 12回

地域訪問 39回

関係機関等との情報交換、連絡、調整等 488回

○障害者関係機関等情報交換会の開催 4回

○各種委員会等への出席

(2) 連携・協働による地域福祉の推進《重点項目》

○町内会連携地域福祉活動モデル事業

※新型コロナウイルス感染症の影響により指定中止

(3) 共同募金委員会・老人クラブ連合会との連携・協働の推進

○岩沼市共同募金委員会の事務受託

・会務（事務、業務）の支援

・募金活動への協力等

○岩沼市老人クラブ連合会の事務受託

・会務（事務、業務）の支援

・社協共催事業

①岩沼市老連ブロック別スポーツ交流会

②その他事業への協力等

6 推進目標：地域を支えるための基盤強化

第2次地域福祉活動計画の2年目となる令和4年度は、引き続き猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の感染状況等を勘案しながら計画に沿って法人の運営管理等の進行管理を行いました。また、介護保険事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続きましたが、感染予防対策を講じ、利用者に対し安全・安心なサービスの提供に努めました。さらには、新たな事業として障害者等への相談支援を目的とする事業所の立ち上げに向けて準備を進めました。

(1) 社協だよりの充実

○社協だよりの発行

会報「社協だより」の発行 年4回（7・10・12・3月） 計 74,910部

(2) ホームページ等の内容充実

○ホームページの更新

随時更新

○LINE公式アカウントの運用

随時更新 登録者数178名

(3) 自主財源の確保

○経営・財政基盤の強化

1 会務の運営

①理事会

会 務 名	開 催 期 日	出 席 数	内 容
第307回 理 事 会	6月1日	理事 11名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告について</li> <li>・令和3年度収支決算について</li> <li>・諸規程の改正について</li> <li>・令和4年度資金収支補正予算（第1号）について</li> <li>・第155回評議員会の開催について</li> </ul>
第308回 理 事 会	9月13日	理事 9名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会嘱託職員給与規程の一部改正について</li> </ul>
第309回 理 事 会	12月13日	理事 11名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定相談支援事業・障害児相談支援事業の実施について</li> <li>・社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会定款の一部改正について</li> <li>・諸規程の改正について</li> <li>・社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会指定相談支援事業所運営規程の制定について</li> <li>・令和4年度資金収支補正予算（第2号）について</li> <li>・第156回評議員会の開催について</li> <li>・第4回評議員選任・解任委員会の開催について</li> <li>・評議員候補者について</li> </ul>

第310回 理事会	3月10日	理事11名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸規程の改正について</li> <li>・各種委託契約について</li> <li>・指名競争入札等による契約について</li> <li>・会社役員賠償責任保険の契約について</li> <li>・令和4年度資金収支補正予算（第3号）について</li> <li>・令和5年度事業計画について</li> <li>・令和5年度資金収支予算について</li> <li>・第157回評議員会の開催について</li> </ul>
--------------	-------	---------------	---

## ②評議員会

第155回 評議員会	6月17日	評議員20名 正副会長 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告について</li> <li>・令和3年度収支決算について</li> <li>・令和4年度資金収支補正予算（第1号）について</li> </ul>
第156回 評議員会	12月23日	評議員15名 正副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会定款の一部改正について</li> <li>・令和4年度資金収支補正予算（第2号）について</li> </ul>
第157回 評議員会	3月24日	評議員20名 正副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度資金収支補正予算（第3号）について</li> <li>・令和5年度事業計画について</li> <li>・令和5年度資金収支予算について</li> </ul>

## ③委員会等

監事会	5月18日	監事2名 正副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告について</li> <li>・令和3年度収支決算について</li> </ul>
第4回 評議員選任・ 解任委員会	1月24日	委員5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員の選任について</li> </ul>
地域福祉 推進員会議	7月5日	会長 地域福祉推進員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩沼市社会福祉協議会について</li> <li>・地域福祉推進員の役割について</li> <li>・会費の納入について</li> </ul>
総合企画部会	2月21日	部会員4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事業計画について</li> </ul>
総務財政部会	2月21日	部会員4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度当初予算について</li> </ul>
正副会長会議	年12回	正副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の事業並びに運営について</li> <li>・理事会・評議員会の案件について</li> <li>・月間行事予定の調整と参加出席調整等</li> </ul>

### ○岩沼市デイサービスセンター「さとのもり」管理・運営

令和3年度より5年間、岩沼市デイサービスセンターさとのもりの指定管理者として岩沼市から指定を受けて2年目となり、継続して管理・運営に努めました。

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により感染を懸念して利用を控える利用者が多く、また、認知症高齢者の施設入所が相次ぐなど、稼働率の低下が見られま



した。

一般型及び認知症対応型と共通して、日常生活に支障が見られる高齢者（事業対象者及び要支援・要介護認定を受けた方）に対し、日常生活に必要な支援及び心身機能の維持向上を目的としたサービスを提供し、生きがいを持った暮らしの一助となるよう努めました。

令和4年度利用状況

	延利用者数	一般型(予防) 延利用者数	認知症型 延利用者数	開所日
年間合計	6,984名	6,175名 (1,082名)	809名	361日
平均稼働率	61.3%	69.1%	33.0%	

①通所介護及び介護予防通所介護の提供

- ・生活指導、機能訓練、入浴サービス、食事サービス、送迎サービス

②事業

- ・無料体験・見学者 24名（内11名契約）
- ・家族・地域交流会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止
- ・介護実習等の受け入れ 2名

③会議の開催及び参加

- ・岩沼市デイサービスセンターさとのもり地域密着型サービス運営推進会議の開催  
2回開催（8月、3月に書面による開催）

○岩沼市地域包括支援センター事業の受託

岩沼市社会福祉協議会地域包括支援センターについては、平成20年4月1日から継続して事業を受託しており、令和4年度も岩沼小学校区の地域包括支援センター事業を岩沼市から受託し、事業を実施しました。

① 法定事業

- ・介護予防支援事業、第1号介護予防支援事業 1,737件
- ・総合相談事業 2,200件
- ・権利擁護事業 305件  
(虐待・成年後見制度利用支援、消費生活相談を含む)
- ・包括的・継続的ケアマネジメント事業 152件
- ・生活支援コーディネート事業 1,520件
- ・認知症地域支援事業 602件
- ・医療連携 97件
- ・地域ケア個別会議の開催 5回

② 任意事業

- ・介護予防教室 3回開催 参加者 51名
- ・家族介護教室 2回開催 参加者 22名
- ・認知症サポーター養成講座 2回開催 参加者 158名
- ・出前講座 5回開催 参加者 134名
- ・生涯現役！パワークラブ 19回開催 参加者 100名
- ・2層協議体 8回開催 55名
- ・生活支援体制整備事業岩沼小学校圏域研修会 参加者 37名
- ・よいカフェ（商店街よい市に参加） 6回開催 参加者 46名
- ・包括だより 10回発行

○居宅介護支援事業

岩沼市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所については、介護保険法等の趣旨に則り利用者の意思及び人格を尊重し、可能な限り居宅において、その方の有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、要介護認定等の申請に係る援助や利用者等への相談業務、居宅介護サービス計画等の作成と実施状況の把握、指定居宅サービス事業者や介護保険施設等への紹介等の居宅介護支援を行いました。

- ・要介護支援事業 800件
- ・介護認定調査業務 69件
- ・介護予防支援業務 19件

○特定・障害児相談支援事業

障害者総合支援法に基づき、指定特定相談支援事業及び指定児童相談支援事業の円滑な運営管理を図るとともに、指定計画相談支援又は指定障害児相談支援を利用する利用者に対し、適切な相談や援助を行うことを事業目的とした岩沼市社会福祉協議会指定相談支援事業所の開設に向けた準備作業や職員の実務研修を行いました。

- 1月 定款変更申請（事業変更）、事業認可
- 3月 事業開始申請

(2) 役職員の価値観の共有化

○役職員研修の充実

- ・役職員研修会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止
- ・階層別研修会への参加 延7名
- ・職能別研修会への参加 延109名

○組織体制の見直し

- ・定款改正 1件
- ・諸規程の制定及び改廃 制定1件 改正16件

(3) 地域福祉活動計画の進行管理

○第2次地域福祉活動計画の進行管理 (令和3年度から令和7年度)

- ・事業評価委員会の開催 1回(11月)

## 事業報告書の付属明細書

令和4年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。

社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会